掲載許可番号：d202500317-06

「トーチライト」の火を見つめる卒業生
＝14日午前、松山市桑原３丁目

輝く未来へ 巣立つ春

松山東雲女子大・短大 281人卒業式

松山東雲女子大・短期大の卒業式が14日、松山市桑原3丁目の同大チャペルであり、未来への希望を胸に２８１人が学びやを巣立った。

高橋圭三学長が代表者に卒業証書・学位記を授与。「ささいな努力も継続することで満足する結果を得られる。卒業後も夢を追い続けてほしい」とエールを送った。

卒業生を代表し、女子大人文科学部心理子ども学科の大倉千怜さん(22)が「友人におはようとあいさつし、一緒に授業を受け、また明日ねと帰っていく。そんな当たり前の日々もかけがえのない思い出」と４年間を回顧。短期大食物栄養学科の浅野早百合さん(20)は「『できないからやらない』ではなく、『どうやったら実現できるか』を考えることの大切さを実習で学んだ。利用者の方に食事を楽しみにしてもらえる栄養士になりたい」と社会での活躍を誓った。

「一人一人の未来が輝くように」との願いを込めた伝統のトーチライトがあり、卒業生の手元のろうそくに火がともると、会場は荘厳な雰囲気に包まれた。（増田有梨）